

令和4年9月20日

かほく市議会議長 猪村 博靖 様

予算決算常任委員会委員長 杉本 正一

令和3年度決算に係る議会による行政評価の結果について

標記の件について、総務建設分科会・市民文教分科会において審査が終了し、9月2日に開催した予算決算常任委員会において、別添の分科会長の報告並びに委員会で出た意見等をまとめ別添のとおり報告いたします。

令和4年9月2日

予算決算常任委員会
委員長 杉本 正一 様

予算決算常任委員会
総務建設分科会長 金子 猛

議会による行政評価報告書

総務建設分科会における審査が終了しましたので、「令和3年度決算に係る議会による行政評価」を添付の上、報告いたします。

記

1. 審査期日 : 7月29日 審査対象事業抽出

8月8日 現場視察

- ①遠塚多目的保安林 : 雑木処理事業（スポーツ文化課とのJV事業）
- ②かほく東西幹線道路 : 宇気地内、二級河川宇ノ気川橋梁架橋工事
- ③かほく市消防本部 : 消防署救急自動車更新事業

8月8日 産業振興課（企画振興課）

8月9日 企画振興課

2. 審査方法 : 令和3年度事業評価
（第2期かほく市創生総合戦略推進計画 事業成果個票）
から抽出審査。

3. 審査結果 : 【全体評価】、特筆すべき【個別事業】について

【全体評価】

審査については、〔必要性〕〔妥当性〕〔費用対効果〕〔成果〕を主眼に置き、昨年度同様、かほく市創生総合戦略推進計画（R2～R6）の事業成果個票から評価対象事業を抽出して行政評価を実施した。

昨年度の事業評価における指摘事項や提案などを踏まえ、積極的に取り組まれている事業もあるが、新型コロナウイルスの影響や高齢化により活動の継続が困難になるなど、新たな課題が生じている事業もある。

引き続き職員の創意工夫や民間との連携により、各事業の目標達成に向けた新たな取り組みに期待する。

【個別事業】

○担い手育成に関する事業（仮）（産業振興課）

- ・若手就農者を増やすために、ブランド力を高めて高収入を得られるよう工夫を求める。
- ・新規就農者が将来にわたり継続できるよう JA や県などと連携して販売ルートの確保に取り組むことを求める。

○観光振興による新しい人の流れの創出（産業振興課）

- ・新型コロナウイルスの影響で令和3年度事業を実施することができなかったが、かほく市の観光資源を活用した市独自の事業の展開を求める。

○戦略的な企業誘致の推進（産業振興課、企画振興課）

- ・工業団地の造成について検討を求める。
- ・積極的な誘致活動に努めること。
- ・製造業にこだわらず、研究開発機関等の多様な業態での企業誘致を求める。

○空き家空き店舗の活用による賑わいの創出（企画振興課）

- ・昨年度の指摘事項などを踏まえて積極的に取り組んでおり高く評価する。
- ・行政だけでなく、各地区でも取り組めるよう検討すること。
- ・出店した方が、営業を継続していけるようにアフターフォローにも取り組むことを求める。

○ふるさと回帰による関係人口の創出（企画振興課）

- ・SNSやオンラインを活用した関係人口の拡大を求める。
- ・関東かほく会の活動が継続できるよう、高齢化などの課題解決のための取り組みを検討すること。

○石川中央都市圏連携事業の推進（企画振興課）

夜間の救急、見守りネットワーク、ワクチン接種など、市単独でできないことができるようになってきている。相互協力の観点から、建設的な協議が行われている。

今後も中央都市圏だからできること、できないことを取捨選択し、広域的な取り組みのメリットを活用した取り組みに期待する。

○石川県立看護大学及び県内大学による地方創生推進事業（企画振興課）

・市民の健康づくりや高齢者の生きがいづくり、観光面など幅広い分野で連携されており評価する。

・道の駅高松の提供メニューについて、学生のアイデアを活用するなど積極的な取り組みを求める。

4. まとめ：

当分科会の所管には、社会資本整備を中心としたまちづくりや産業振興などの活性化、定住人口・交流人口の増加策の事業があり、今後新たな課題が想定される。

その課題については、時代に応じたニーズを的確に把握し、特色のある施策の展開と更なる活力のあるまちづくりに期待する。

改善とした事業については来年度の「議会による行政評価」でどう改善されたかを問うこととしたい。

以上

予算決算常任委員会 総務建設分科会
 《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

審査対象事業

No.	担当課	事業名	全体評価合計	今後の方向性
1	産業振興課	担い手育成に関する事業（仮）	85	現状のまま継続する
2	産業振興課	観光振興による新しい人の流れの創出	70	現状のまま継続する
3	産業振興課	戦略的な企業誘致の推進	75	改善し継続する
4	企画振興課	空き家空き店舗の活用による賑わいの創出	90	現状のまま継続する
5	企画振興課	ふるさと回帰による関係人口の創出	70	改善し継続する
6	企画振興課	石川中央都市圏連携事業の推進	80	現状のまま継続する
7	企画振興課	石川県立看護大学及び県内大学による地方創生推進事業	80	現状のまま継続する

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
1	産業振興課	担い手育成に関する事業（仮）	—	6

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	25	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者への支援期間が5年であることを確認 ・ブランド6品目の後継者の状況について、大崎すいかの生産量が減少傾向にあることを確認 ・新規就農者への補助実績内容について、ぶどうと長いもので3件であると確認 ・地産地消で学校給食に活用していることを確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	<ul style="list-style-type: none"> ・若手就農者を増やすために、ブランド力を高めて高収入を得られるよう工夫を求める。 ・新規就農者が将来にわたり継続できるようJAや県などと連携して販売ルート確保に取り組むことを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
2	産業振興課	観光振興による新しい人の流れの創出	—	8

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		70

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・共同広域観光プロモーションによる観光資源の評価を行ったことを確認 ・新型コロナウイルスの影響により、事業を複数中止したことを確認 ・北部交流ゾーンのトライアル事業の進捗状況を確認 ・道の駅高松の食事の提供メニューの工夫について確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で令和3年度事業を実施することができなかったが、かほく市の観光資源を活用した市独自の事業の展開を求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	現状のまま継続する	

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
3	産業振興課	戦略的な企業誘致の推進	75	1

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	25	10	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・誘致活動及び誘致場所の整備について確認 ・県の産業立地課への民有地の登録状況について確認 ・農振地域の除外要件について確認 ・工業団地の造成の方向性について確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	<ul style="list-style-type: none"> ・工業団地の造成について検討を求める。 ・積極的な誘致活動に努めること。 ・製造業にこだわらず、研究開発機関等の多様な業態での企業誘致を求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
改善し継続する		

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
4	企画振興課	空き家空き店舗の活用による賑わいの創出	70	3

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	25	25	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		90

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・新規出店者に関する状況確認やアフターフォローの内容について確認 ・補助対象の期間や休業、廃業した場合の取り扱いについて確認 ・空き家、空き店舗の実態について確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の指摘事項などを踏まえて積極的に取り組んでおり高く評価する。 ・行政だけでなく、各地区でも取り組めるよう検討すること。 ・出店した方が、営業を継続していけるようにアフターフォローにも取り組むことを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	現状のまま継続する	

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
5	企画振興課	ふるさと回帰による関係人口の創出	100	9

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		70

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施の経緯について確認 ・新型コロナウイルスの影響により事業を中止したことを確認 ・SNS、市内中学生などを活用した今後の取り組み内容について確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSやオンラインを活用した関係人口の拡大を求める。 ・関東かほく会の活動が継続できるよう、高齢化などの課題解決のための取り組みを検討すること。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	改善し継続する	

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
6	企画振興課	石川中央都市圏連携事業の推進	—	26

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通ネットワークの構築や公共施設の総合管理の広域的な取り組み、消防の相互応援協定などの現在の協議状況を確認 ・ビジョン懇談会負担金を移住相談会に活用していることを確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・夜間の救急、見守りネットワーク、ワクチン接種など、市単独でできないことができるようになってきている。相互協力の観点から、建設的な協議が行われている。 今後も中央都市圏だからできること、できないことを取捨選択し、広域的な取り組みのメリットを活用した取り組みに期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
7	企画振興課	石川県立看護大学及び県内大学による地方創生推進事業	—	35

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		80

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・県立看護大および金沢学院大との連携事業の内容について確認 ・他の大学、企業などとの連携状況について確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康づくりや高齢者の生きがいくくり、観光面など幅広い分野で連携されており評価する。 ・道の駅高松の提供メニューについて、学生のアイデアを活用するなど積極的な取り組みを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	現状のまま継続する	

令和4年9月2日

予算決算常任委員会
委員長 杉本 正一 様

予算決算常任委員会
市民文教分科会長 丸井 一範

議会による行政評価報告書

市民文教分科会における審査が終了しましたので、「令和3年度決算に係る議会による行政評価」を添付の上、報告いたします。

記

1. 審査期日 : 7月29日 審査対象事業抽出

8月23日 現場視察

- ①高松産業文化センター : 3階試験室をかほく市史編さん室に改修
- ②アクロス高松 : 外壁・屋根等長寿命化改修工事
- ③うのけ総合公園陸上競技場 : 長寿命化改修工事（トラック補修）
- ④宇ノ気南部体育館 : 大規模改造・長寿命化改修工事
(宇ノ気南部学童保育クラブ含む)
- ⑤イオンモールかほく : マイナンバーカード臨時窓口整備事業

8月23日 学校教育課、スポーツ文化課、生涯学習課
子育て支援課

8月24日 健康福祉課、長寿介護課

2. 審査方法 : 令和3年度事業評価
(第2期かほく市創生総合戦略推進計画 事業成果個票)
から抽出審査。

3. 審査結果 : 【全体評価】、特筆すべき【個別事業】及び【現場視察】について

【全体評価】

審査については〔必要性〕〔妥当性〕〔費用対効果〕〔成果〕を主眼に置き評価を行った。昨年度同様、かほく市創生総合戦略推進計画（R2～R6）の事業成果個票から抽出した事業の評価となっており、他部署と関連する事業については、関連する部署の出席を求めるなど審査方法の改善を行った。

また、事業成果個票の内容に対して、該当する予算事業内容だけでは不足である事業が見られたので、今後の新たな取り組みに期待する。

全般的に将来ビジョンを見据えた良い取り組みをしていると評価する。引き続き事業の創意工夫に期待するとともに、取り組みの周知やPRについても積極的に行うことを求める。

【個別事業】

○多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援事業（学校教育課）

子ども達が多様化している中、一人一人に細やかな教育を行うため必要な事業である。

スクールカウンセラーや教育センターの相談窓口は整っているが、気になる子どもたちが増加とのことで、学校現場での支援の拡充を求める。

○する・みる・支えるを通じた「スポーツ関係人口」の創出（スポーツ文化課）

（仮）かほくスポーツコミッションは、令和5年度設立とのこと。現在、各団体とのコア会議により方向性を定め、地域おこし協力隊員を活用し、市民参加型である事業またアスリート育成を含め、かほく市をスポーツで盛り上げられることに期待する。

○学校を核とした地域活力（地域教育力）向上事業（生涯学習課）

学校と地域をつなげる大事な事業と評価するが、コミュニティースクール活動内容を広くPRする必要がある。今後は、学校から地域への積極的なアウトプットを求める。

○西田幾多郎記念哲学館の充実による西田哲学の普及・啓発（生涯学習課 哲学館）

オンリーワン資源である理由として、アカデミックであることと日常的な文化であることの双方を取り入れた施設を目指しているとのこと。

非日常的な哲学だけではなく、広く市民に分かり易いやさしい講座も取り入れることを期待する。

○障害者の暮らしの安全と生きがいづくり（健康福祉課、産業振興課）

国の障がい者トライアル雇用制度と市独自の市内事業所に対して奨励金を上乘せしめて交付する事業は高く評価する。

実績は、1名とのことであるが、今後も障がい者の方の一般就労に向けて、担当各課においては、連携の強化とともに情報交換の場を多く持つ必要があるのではないか。

○市民の健康づくりと「健康なまち」づくり基盤の整備（健康福祉課、長寿介護課）

コロナ禍において、体力低下・フレイルに陥らないように、市民に対して適度な運動を促す事業は大切であると考えます。

さらに、市民が参加しやすい環境づくり、周知に努めることを求める。

○新技術を活用したまちづくりの推進（長寿介護課）

高齢者へのAI・IoT・5Gなど新技術の普及を目指す事業であるが、参加しやすい環境づくりとともに興味を示す努力が必要。

（昨年は、いきいきシニア活動支援事業を通しての評価であったが、今回は新技術に特化した事業について評価を行った）

○高齢者の生きがいづくり環境の整備（長寿介護課）

老人福祉事業としては必要な事業である。今後の課題としては、3つの老人福祉センターの在り方（老朽化による修繕費の増大）を考える必要が身近にせまっているのではないか。各関係者と意見交換をしながら検討を進める必要がある。

○親と子がともに健やかに成長できる環境づくり（子育て支援課）

子ども総合センター・子育て支援センターともに充実した内容で評価ができる。加え、「あそびの森かほっくる」の天候を問わず親子で楽しめる施設整備も含め、今後の取り組みに更に期待する。

出生数も増え、子育て支援を下支えをする学童保育の整備について考える必要があるのではないか。

○幼児教育の環境整備（子育て支援課）

保育の中における教育の充実を早期から取り入れ、継続しており、保護者アンケートでも評価が高いとのこと。

幼児教育を受けた子ども達の成長を楽しみにしている。

4. まとめ

当分科会の所管は、少子高齢化に対する新たな課題、子育て、教育に関する課題、また文化と教養を育むための課題、生きがい確保に対する市民ニーズの創設などが求められる。

行政の課題、市民ニーズを的確に捉え、時代に即した柔軟な施策と制度設計を期待する。

以上

予算決算常任委員会 市民文教分科会
 《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

審査対象事業

No.	担当課	事業名	全体評価合計	今後の方向性
1	学校教育課	多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援事業	85	拡充する
2	スポーツ文化課	する・みる・支えるを通じた「スポーツ関係人口」の創出	85	現状のまま継続する
3	生涯学習課	学校を核とした地域活力（地域教育力）向上事業	75	改善し継続する
4	生涯学習課(哲学館)	西田幾多郎記念哲学館の充実による西田哲学の普及・啓発	80	現状のまま継続する
5	健康福祉課(産業振興課)	障害者の暮らしの安全と生きがいがづくり	70	改善し継続する
6	健康福祉課、長寿介護課	市民の健康づくりと「健康なまち」づくり基盤の整備	75	改善し継続する
7	長寿介護課	新技術を活用したまちづくりの推進	60	改善し継続する
8	長寿介護課	高齢者の生きがいがづくり環境の整備	75	改善し継続する
9	子育て支援課	親と子がともに健やかに成長できる環境づくり	90	現状のまま継続する
10	子育て支援課	幼児教育の環境整備	90	現状のまま継続する

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
1	学校教育課	多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援事業	—	20

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		85

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・すまいるを卒業する生徒の進学率などについて確認 ・スクールカウンセラーの利用実績について確認 ・小中学校における不登校の児童数や保健室登校の状況について確認 ・支援の必要な児童の情報に関する学校との連携体制について確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
6	6 拡充する	子ども達が多様化している中、一人一人に細やかな教育を行うため必要な事業である。 スクールカウンセラーや教育センターの相談窓口は整っているが、気になる子どもたちが増加とのことで、学校現場での支援の拡充を求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	拡充する	

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
2	スポーツ文化課	する・みる・支えるを通じた「スポーツ関係人口」の創出	70	31

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	25	15	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		85

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・公認審判員の対象範囲について確認 ・スポーツコミッションの設立に向けた取り組み状況、また、設立後の運営方法や方向性について確認 ・激励費などの決算状況に関して、新型コロナウイルス感染症による影響を確認 ・スポーツコミッション設立に関するワークショップで意見のあった「かほく市の強み」の内容について確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	(仮) かほくスポーツコミッションは、令和5年度設立とのこと。現在、各団体とのコア会議により方向性を定め、地域おこし協力隊員を活用し、市民参加型である事業またアスリート育成を含め、かほく市をスポーツで盛り上げられることに期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	現状のまま継続する	

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
3	生涯学習課	学校を核とした地域活力（地域教育力）向上事業	—	21

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		75

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティースクールの導入による先生への負担軽減の状況について確認 ・コミュニティースクールの実施状況および地域の方への周知方法について確認 ・学校運営協議会と学校との連携状況について確認 ・新型コロナウイルス感染症による参加人数などへの影響を確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	学校と地域をつなげる大事な事業と評価するが、コミュニティースクール活動内容を広くPRする必要がある。今後は、学校から地域への積極的なアウトプットを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	改善し継続する	

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
4	生涯学習課 (哲学館)	西田幾多郎記念哲学館の充実による西田哲学の普及・啓発	75	34

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	25	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		80

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など (300字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・哲学館友の会への入会状況について確認 ・オンリーワン資源としての哲学館の活用方針について確認 ・哲学館の有料空間における使用許可の状況について確認 ・新型コロナウイルス感染症による入館者数などへの影響について確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など (400字以内)
5	6 拡充する	オンリーワン資源である理由として、アカデミックであることと日常的な文化であることの双方を取り入れた施設を目指しているとのこと。 非日常的な哲学だけではなく、広く市民に分かり易いやさしい講座も取り入れることを期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	現状のまま継続する	

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
5	健康福祉課 (産業振興課)	障害者の暮らしの安全と生きがづくり	70	29

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	10	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	70
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など (300字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の就労者数が減となっている理由、A型およびB型などを含めた就労状況について確認 ・ 市内福祉就労支援事業所の連絡会における検討内容について確認 ・ 障害のある方への支援における各担当課の連携状況について確認 ・ 障害者トライアル雇用の制度内容、対象者への周知方法について確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など (400字以内)
4	6 拡充する	国の障がい者トライアル雇用制度と市独自の市内事業所に対して奨励金を上乗せして交付する事業は高く評価する。 実績は、1名とのことであるが、今後も障がい者の方の一般就労に向けて、担当各課においては、連携の強化とともに情報交換の場を多く持つ必要があるのではないか。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
改善し継続する		

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
6	健康福祉課、 長寿介護課	市民の健康づくりと「健康なまち」づくり基盤の整備	—	27

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング事業に関する参加者数の状況について確認 ・プラチナ体操事業に関する参加グループ数への新型コロナウイルス感染症の影響および参加団体などへの支援内容について確認 ・ウォーキング事業時に行っていた体力測定などの実施方針について確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	コロナ禍において、体力低下・フレイルに陥らないように、市民に対して適度な運動を促す事業は大切であると考え。さらに、市民が参加しやすい環境づくり、周知に努めることを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
改善し継続する		

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
7	長寿介護課	新技術を活用したまちづくりの推進	90	23

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	15	15	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		60

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の平均年齢や教室の実施内容について確認 ・教室を行うコーディネーターやボランティアの活動状況を確認 ・今後の活動内容や場所の拡充方針について確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	高齢者へのAI・IoT・5Gなど新技術の普及を目指す事業であるが、参加しやすい環境づくりとさらに興味を示す努力が必要。 （昨年、いきいきシニア活動支援事業を通しての評価であったが、今回は新技術に特化した事業について評価を行った。）
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	改善し継続する	

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
8	長寿介護課	高齢者の生きがいきづくり環境の整備	—	28

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	10	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による利用者数への影響および利用回数による体力低下の影響について確認 ・老人福祉施設で行う事業と各地区老人会等との連携状況について確認 ・旧町ごとの既存施設の修繕や運用方法の方向性について確認 ・老人福祉施設の利用者数の推移について確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	老人福祉事業としては必要な事業である。今後の課題としては、3つの老人福祉センターの在り方（老朽化による修繕費の増大）を考える必要が身近にせまっているのではないかと。各関係者と意見交換をしながら検討を進める必要がある。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
改善し継続する		

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
9	子育て支援課	親と子がともに健やかに成長できる環境づくり	90	16

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	25

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	90
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など (300字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども総合センター「おひさま」と子育て支援センターの位置づけについて確認 ・子育てママリフレッシュ事業などの各種取り組みについて確認 ・学童保育クラブの利用状況と整備見込み（民間活用含む）について確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など (400字以内)
5	6 拡充する	子ども総合センター・子育て支援センターともに充実した内容で高く評価する。加えて、「あそびの森かほつくる」の天候を問わず親子で楽しめる施設整備も含め、今後の取り組みに更に期待する。 出生数も増え、子育て支援を下支えをする学童保育の整備について考える必要があるのではないかと。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和3年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 市民文教分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
10	子育て支援課	幼児教育の環境整備	—	17

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	25	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	90
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・出生数の増減理由について、新型コロナウイルス感染症や子育て支援策による影響について確認 ・各こども園における幼児造形事業などの取り組み内容について確認 ・未満児の利用者数の状況と育児担当制の取り組みについて確認

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	保育の中における教育の充実を早期から取り入れ、継続しており、保護者アンケートでも評価が高いとのこと。幼児教育を受けた子ども達の成長を楽しみにしている。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		